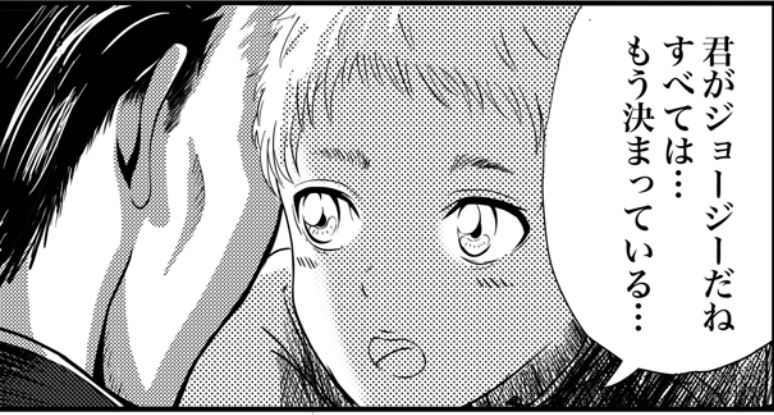
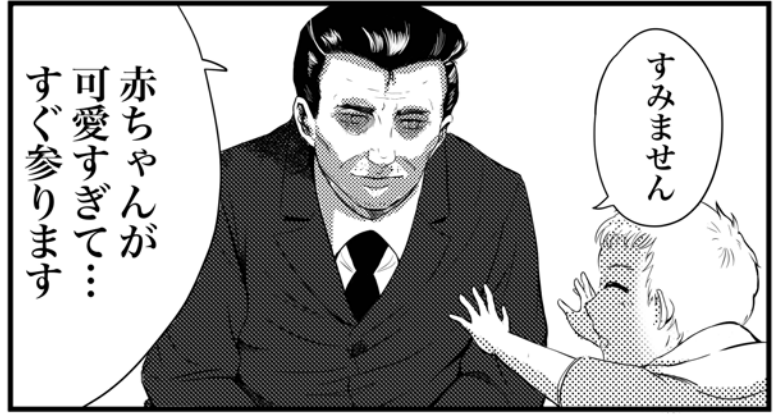


じゃ先に
見せて
いただけ

ふふふ



君がジョージだね
すべては…
もう決まっている…



すみません

赤ちゃんが
可愛すぎて…
すぐ参ります



はい
どう
されましたか

大家さん…



そのドアは
長年修理してないので
ロックをかけています
開かないので
後で修理しますから
安心してください



そのドアが
少し気になって
どこに通りますか

……



やっぱりそう…
あのドア…

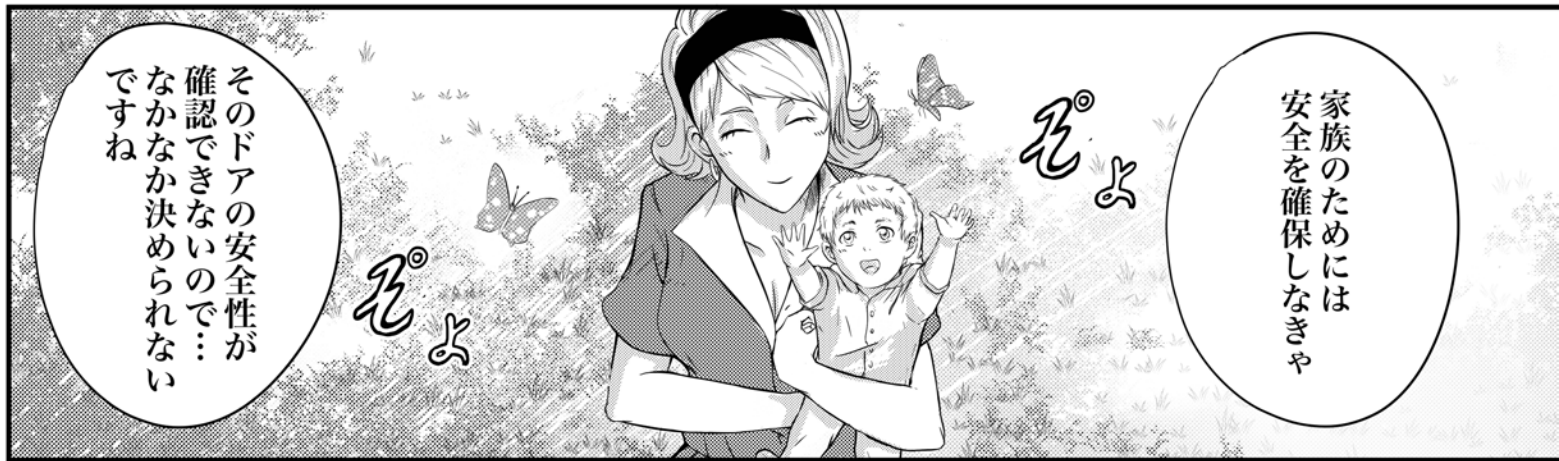
安全の観点から
考えて
気になる問題
がある

確かに部屋全体
が私たちに
合っているが…



どうですか
お決めに
なりましたか

サ
サ



そのドアの安全性が
確認できないので…
なかなか決められない
ですね

家族のためには
安全を確保しなきゃ

花よ
花よ



成約



えっ！

もし決められないなら
しばらく試宅されたら
いかがでしょうか



アハハ

おじさんに
さよならを
言ってるね

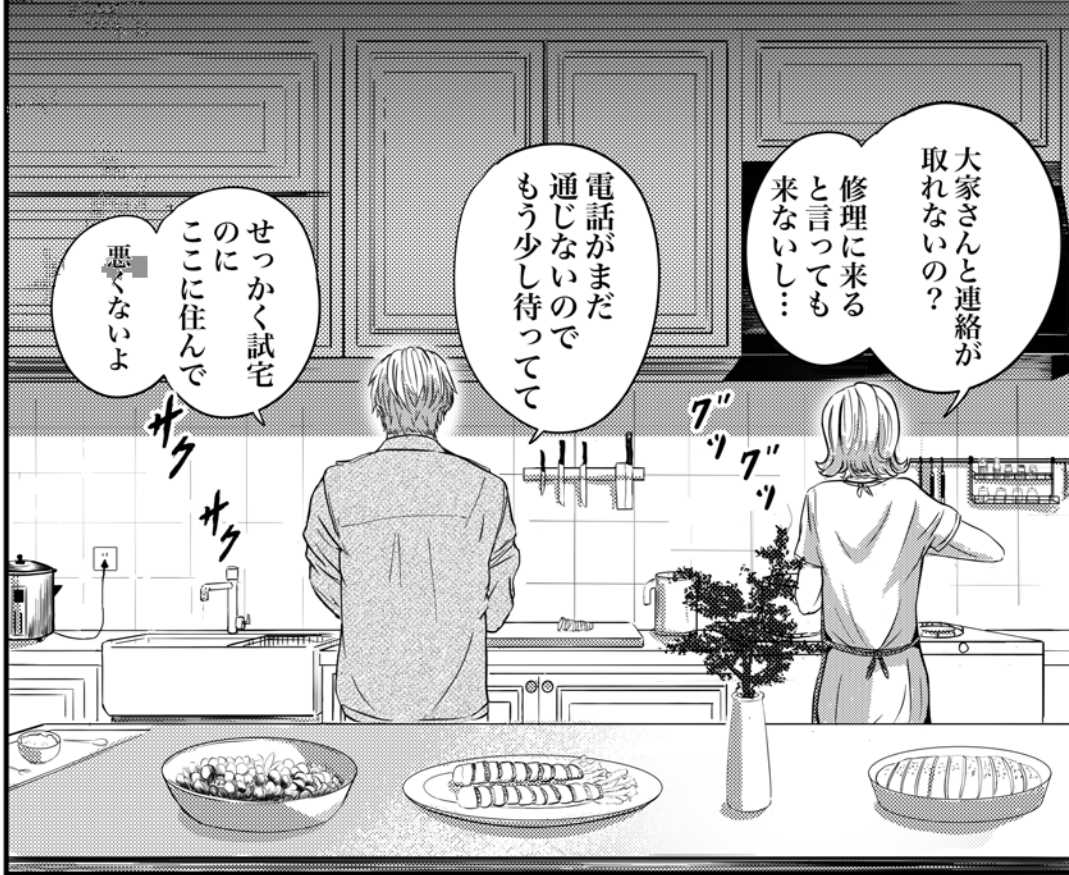


...





— 染肆 —



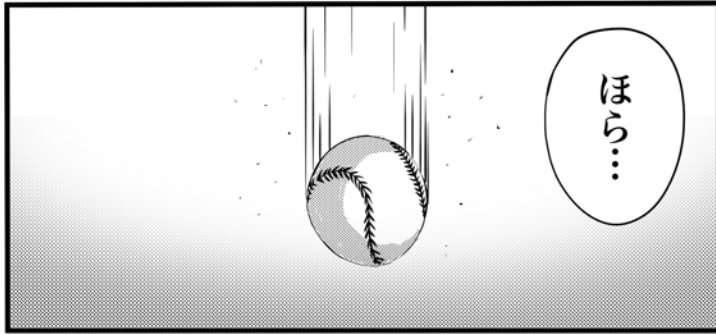
せつかく試宅
のここに住んで
悪くないよ

電話がまだ
通じないので
もう少し待ってて

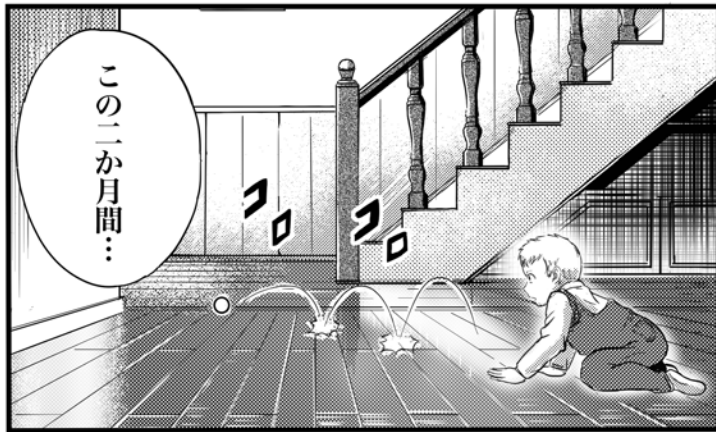
大家さんと連絡が
取れないの？
修理に来る
と言っても
来ないし…



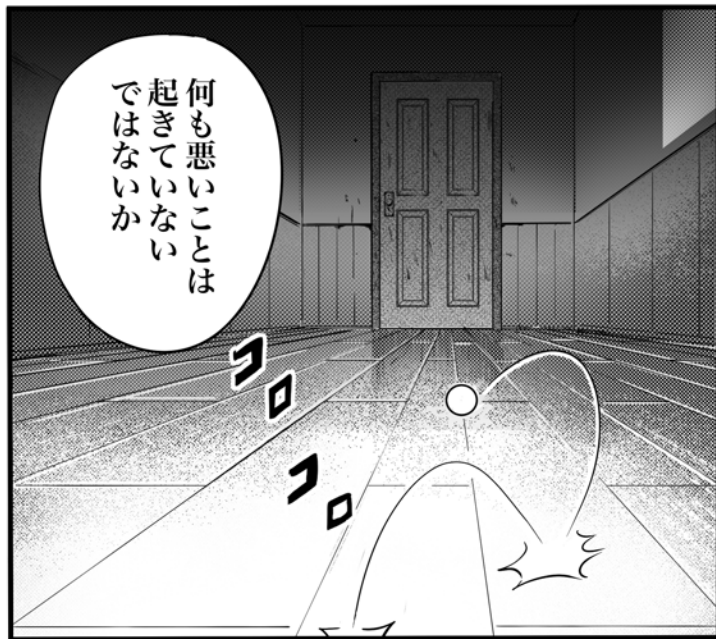
もう二か月
になるわよ



ほら…



この二か月間…

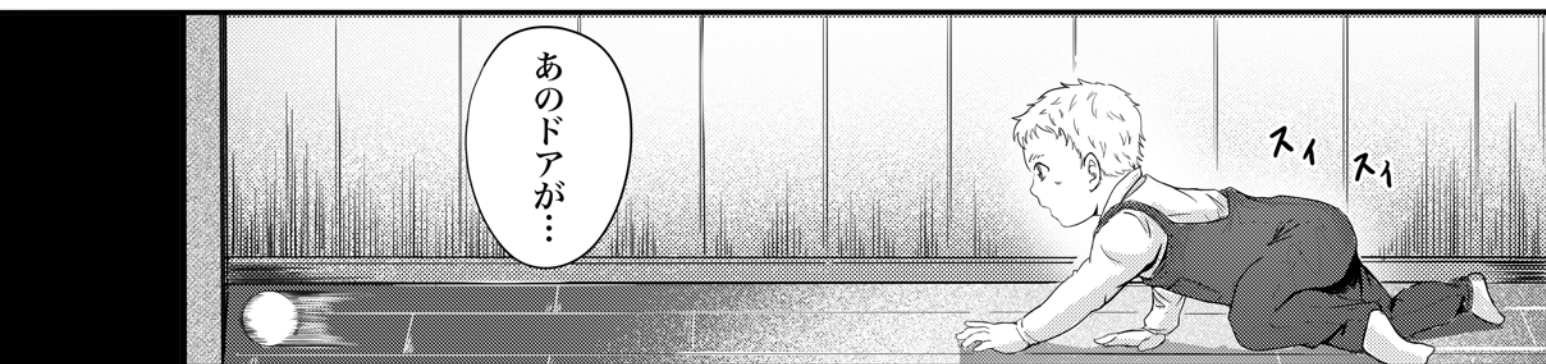
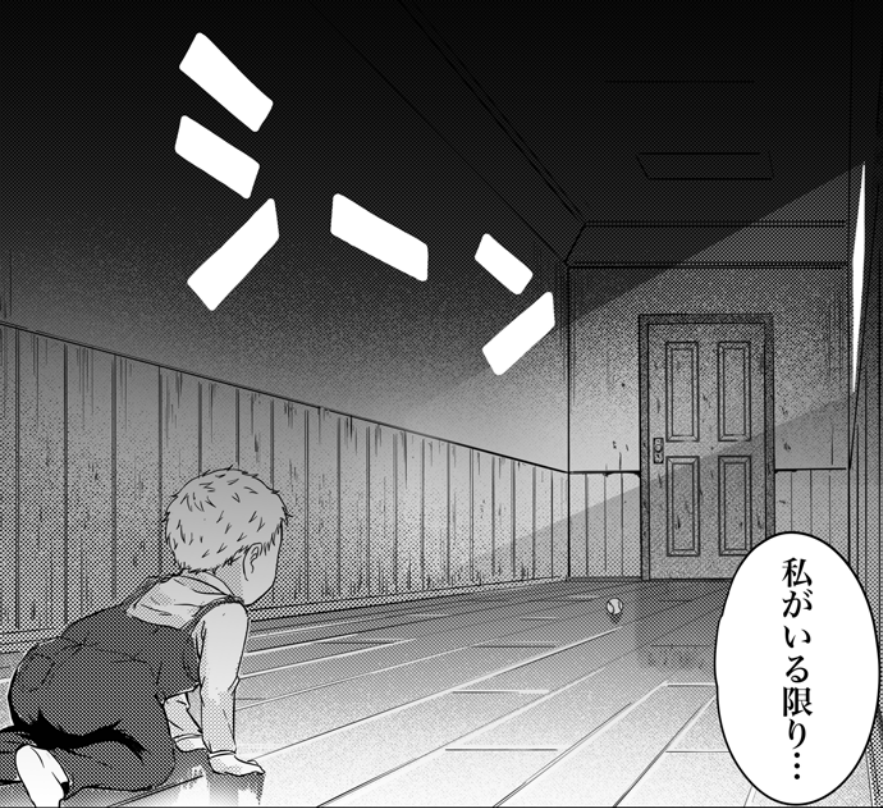


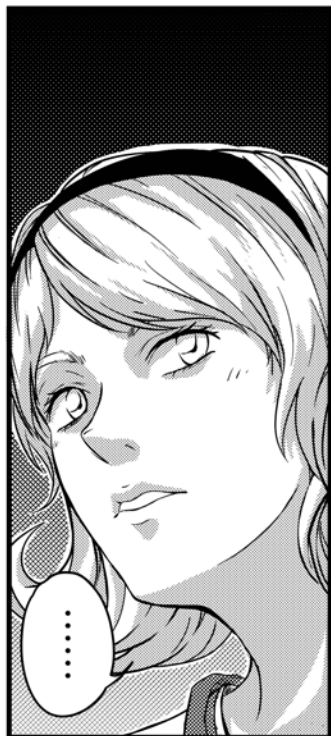
何も悪いことは
起きていない
ではないか



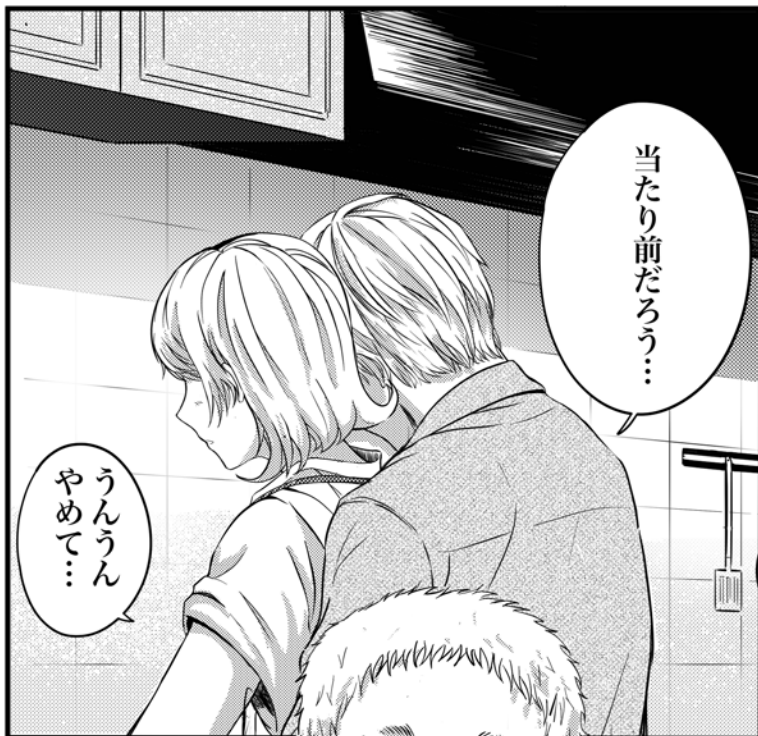
安心して
そのドアはもう
チェックして
完全に開けられない
はずだ

もういい
そう言われても
安心できない





……



うんうん
やめて……

当たり前だろう……



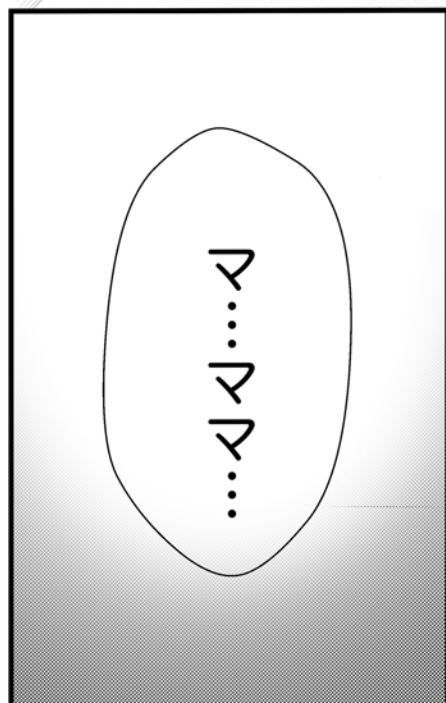
あなた
あなたがいると
安心するわ

サー
サー



ウ……

ア……



……ムム……ム

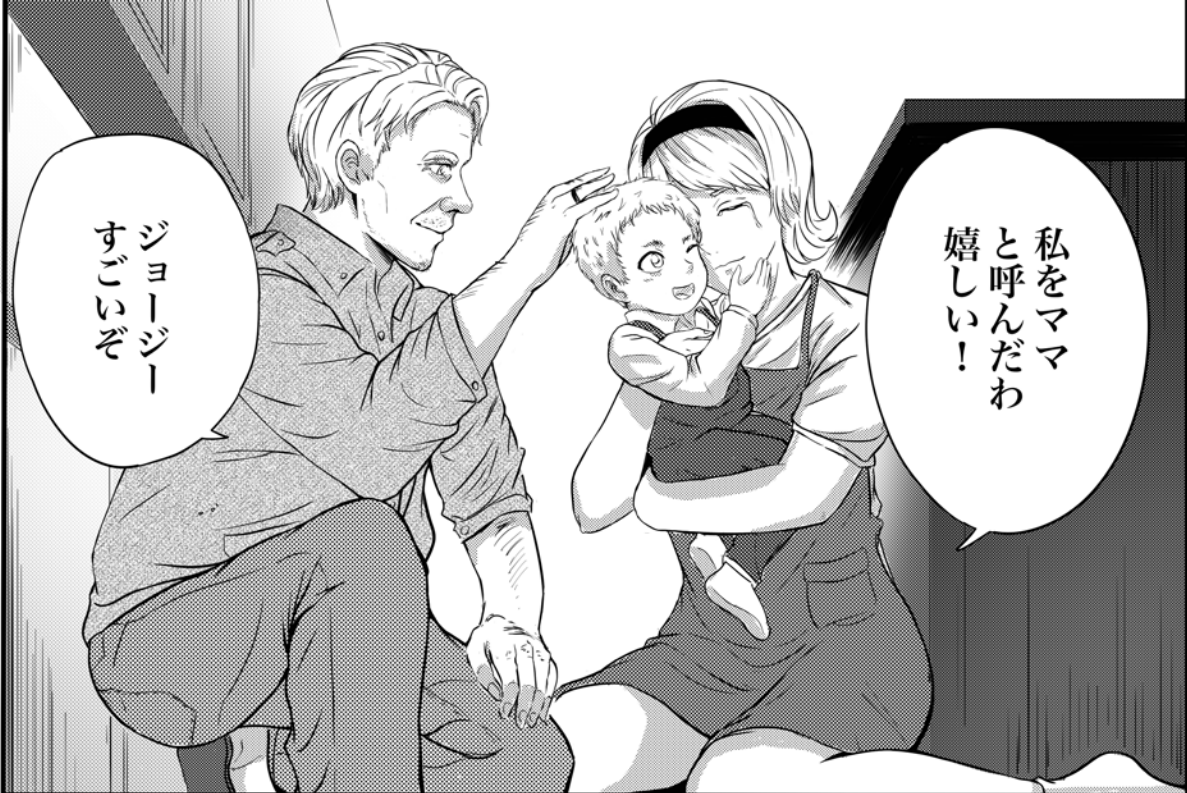


あつ……
立ってる……

ヨラ
ヨラ



ママ…
お腹すいた…

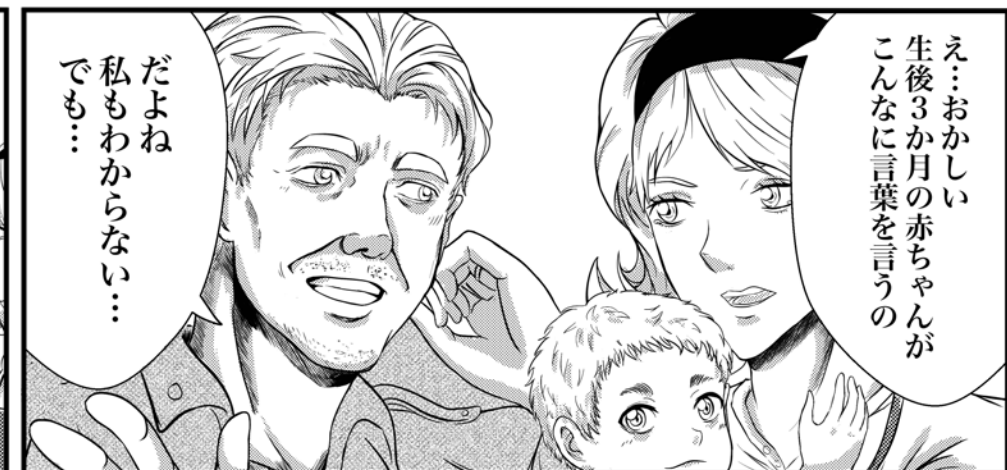


ジョージ
すごいぞ

私をママ
と呼んだわ
嬉しい!



よっしゃ



だよね
私もわからない…
でも…

え…おかし
生後3か月の赤ちゃんが
こんなに言葉を言うの



彼は天才
かもしれんないよ

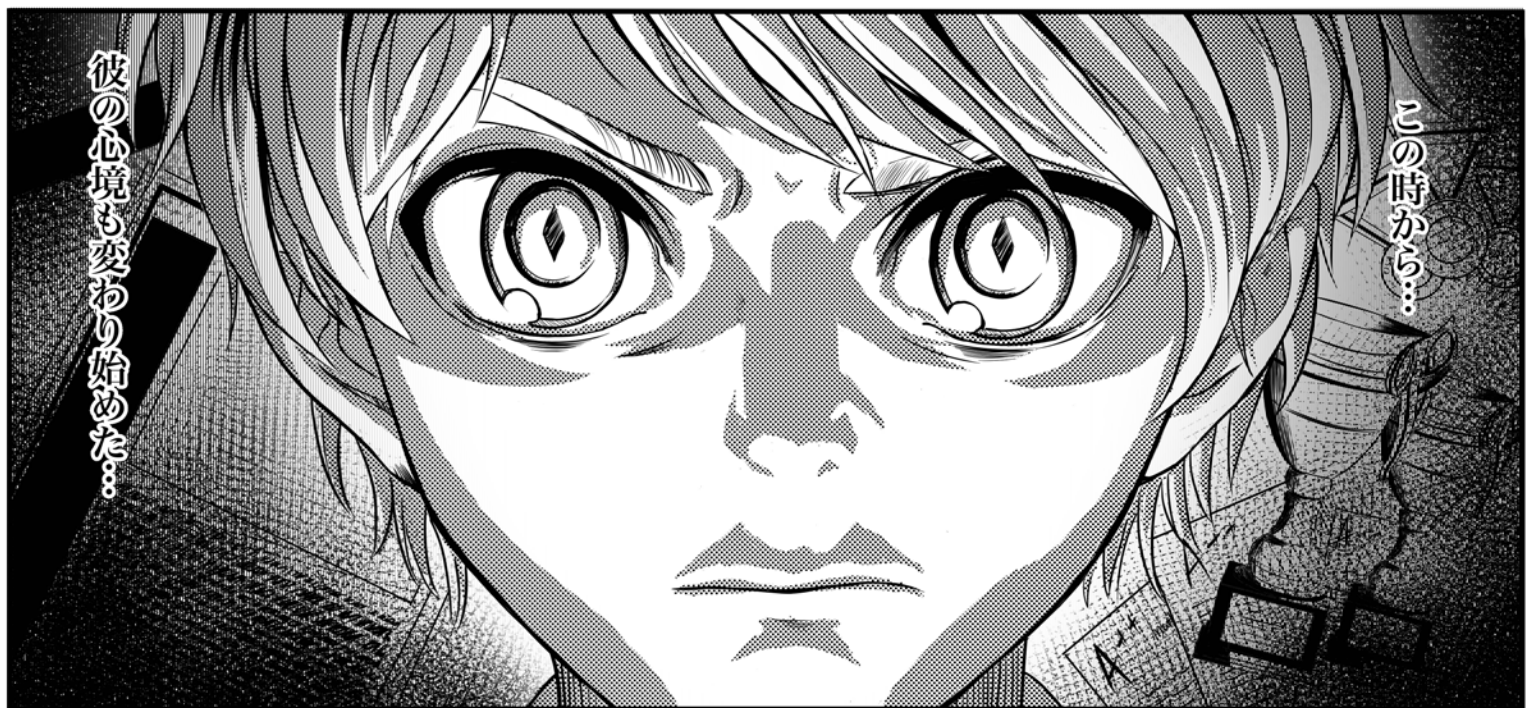


無事に中学校に
飛び級して
進学した

6年後
天才だったジョージは
小学校を早めに卒業し
卒業式で
優秀な卒業生として
スピーチをした後

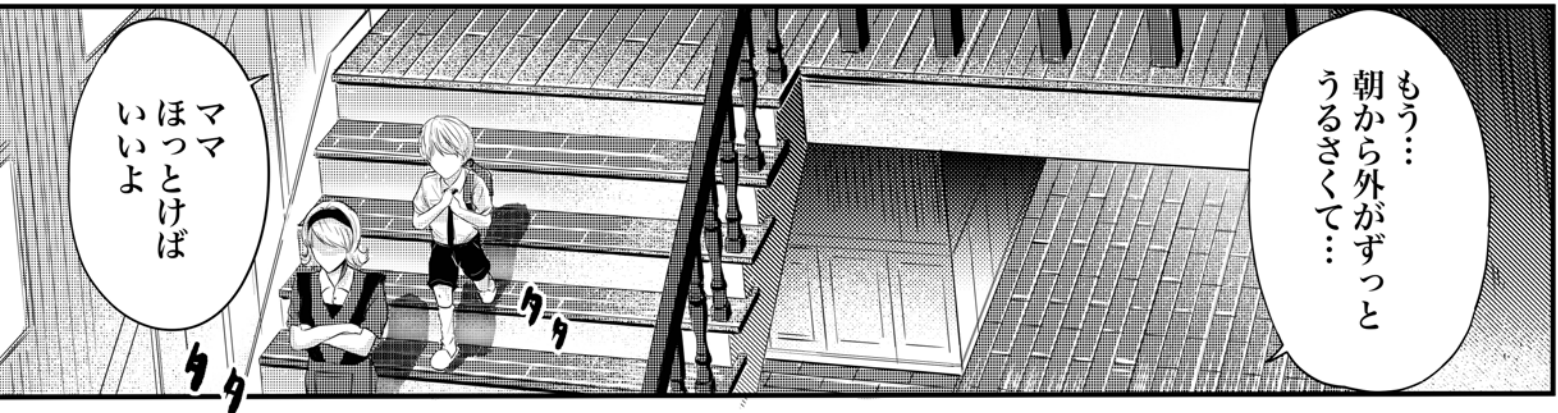
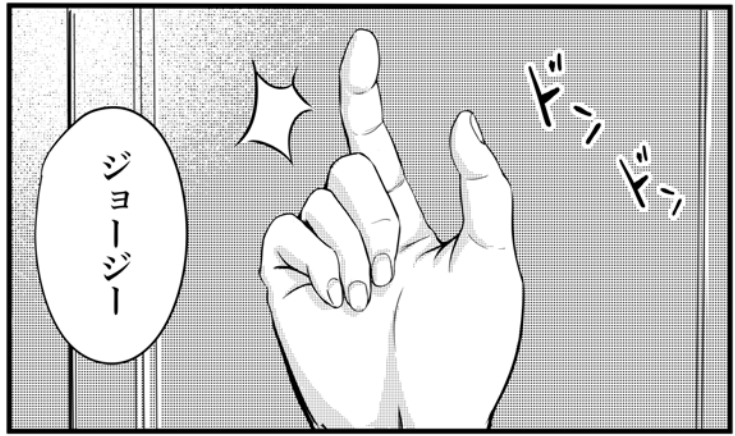


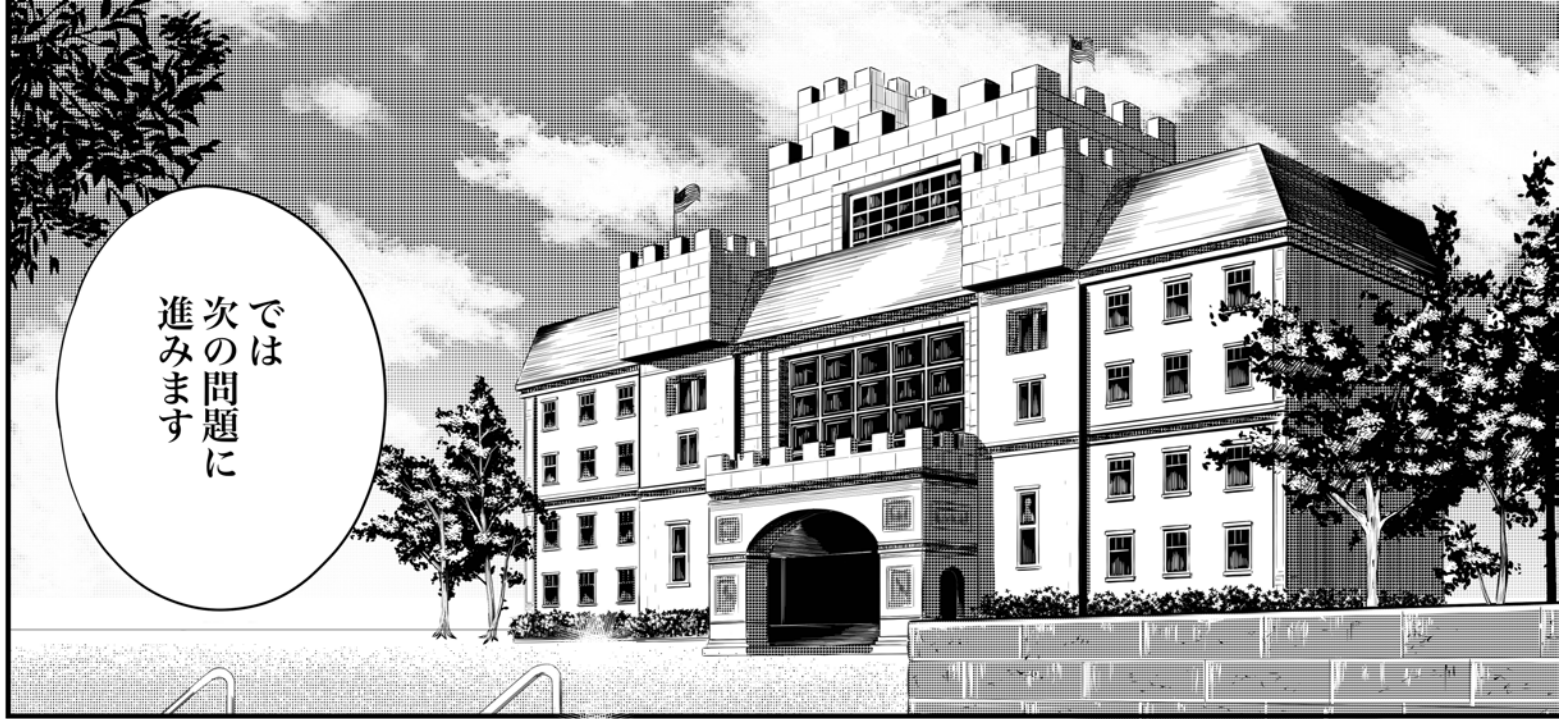
しかし
中学に入った後
すぐに孤立した



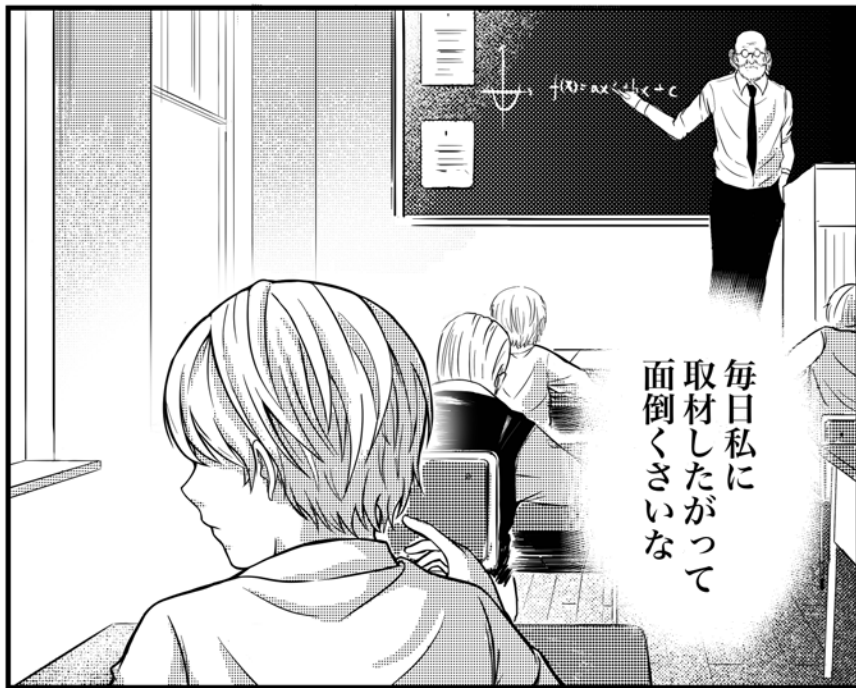
彼の心境も変わり始めた...

この時から...





では
次の問題に
進みます



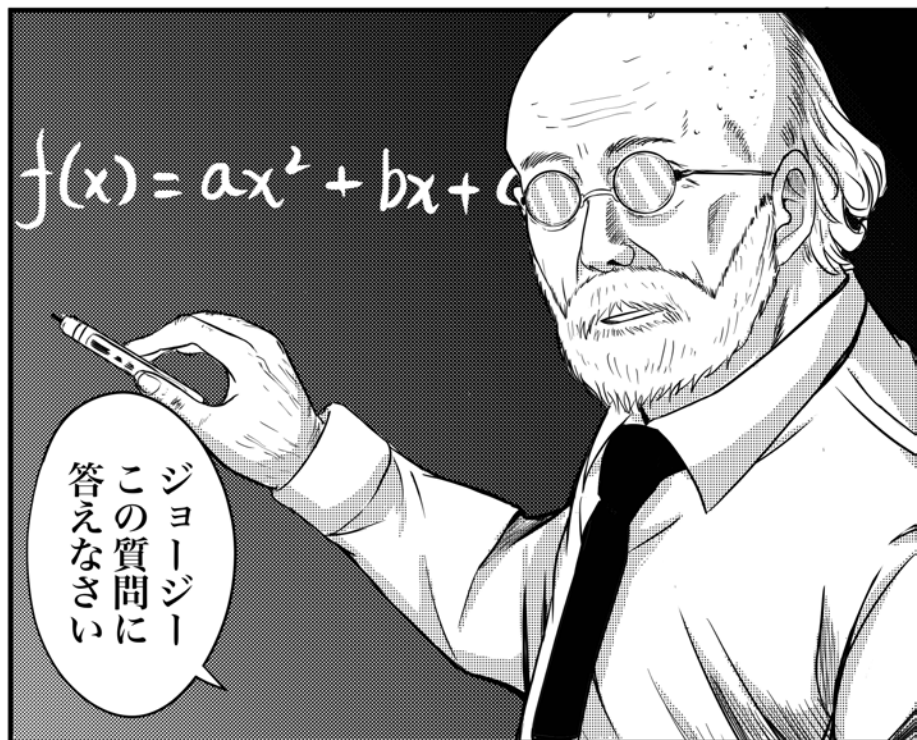
毎日私に
取材したがつて
面倒くさいな



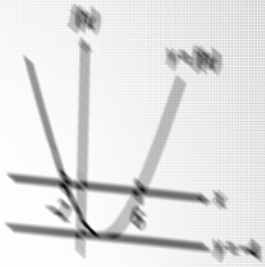
どうして
記者たち
まだいるのか



はい



ジョー
ジー
この質問に
答えなさい



あれ…

まったく
この問題ができる
と分かってるのに…



罰として
下校まで
立っていないさい

…

天才さん
答えられないなら
授業中にサボるな



罰？
うそだろう…
なぜ急に
問題が読めない…





ハハハ
私も聞いた
面白い

あの天才
簡単な問題さえ
できないこと…

ねえ…
聞いたか

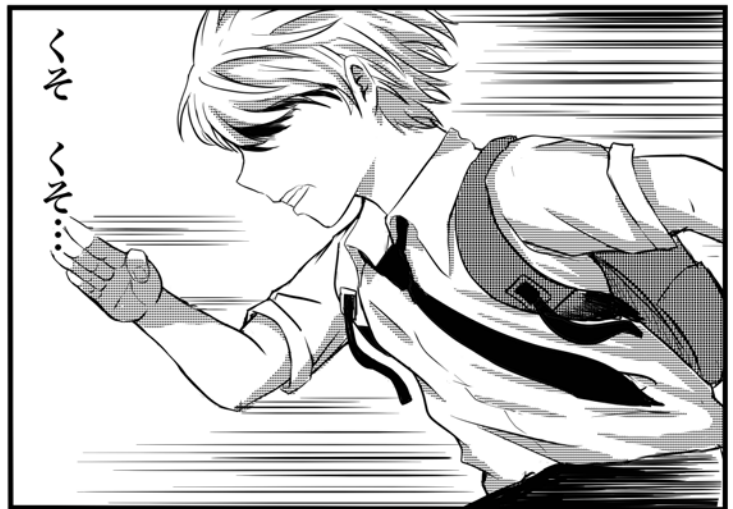


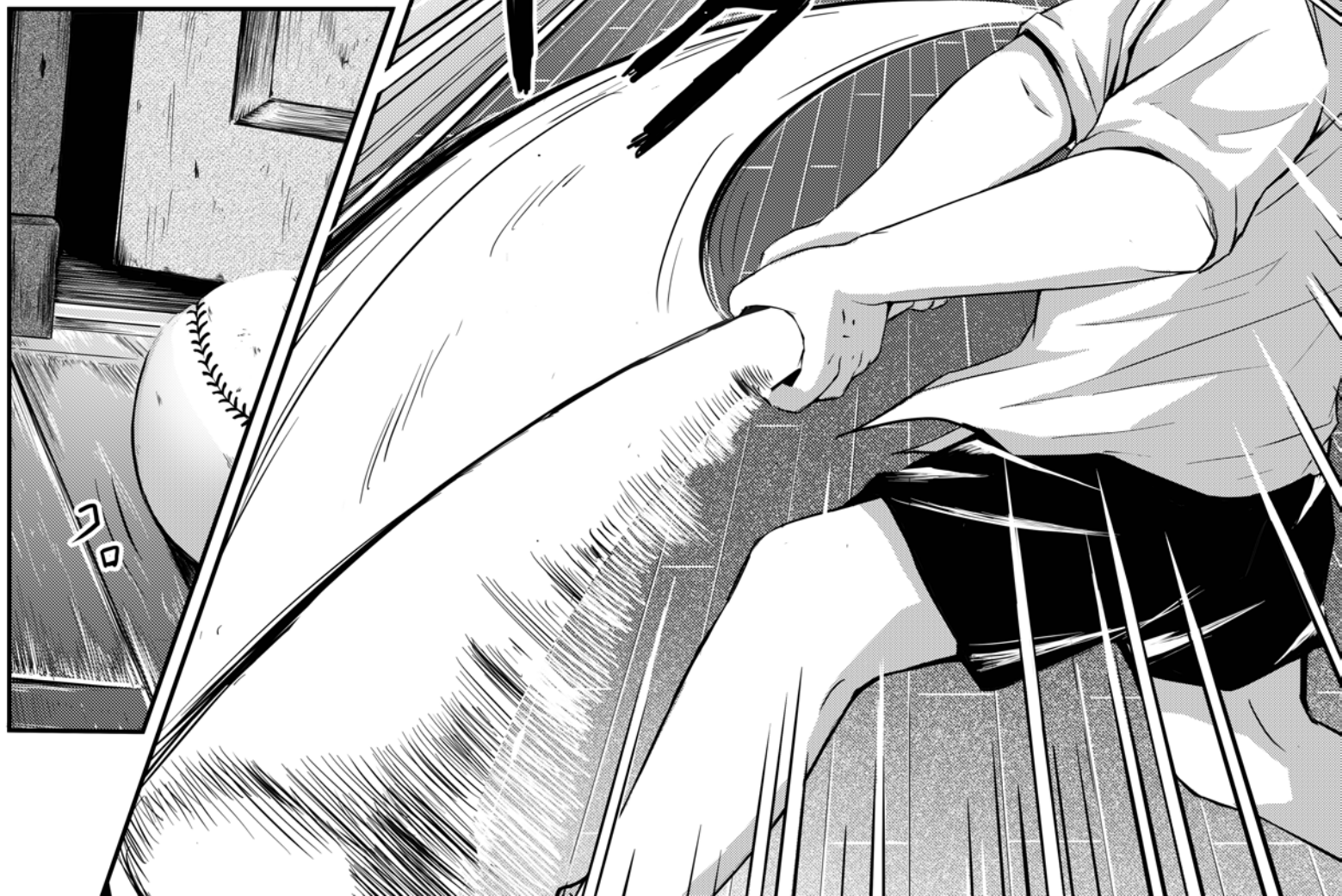
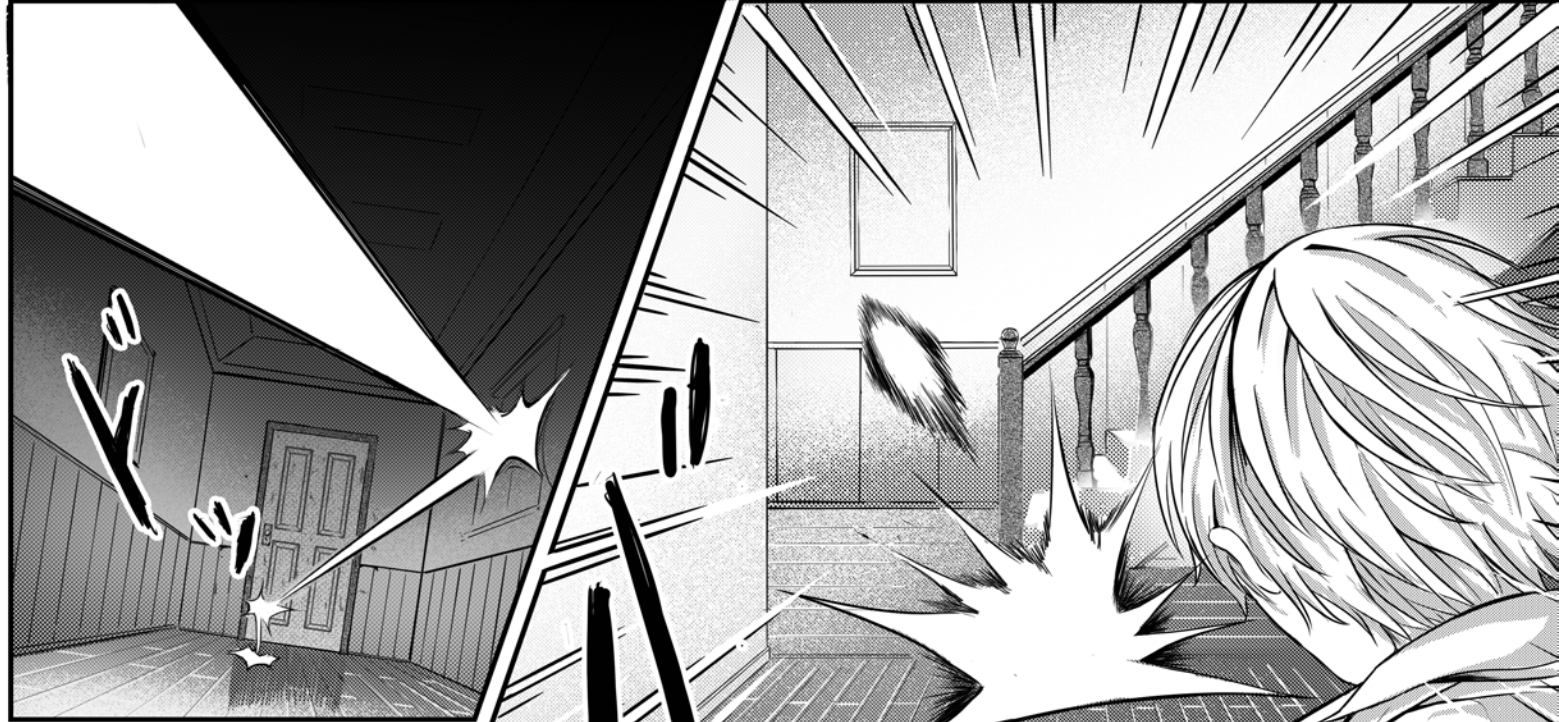
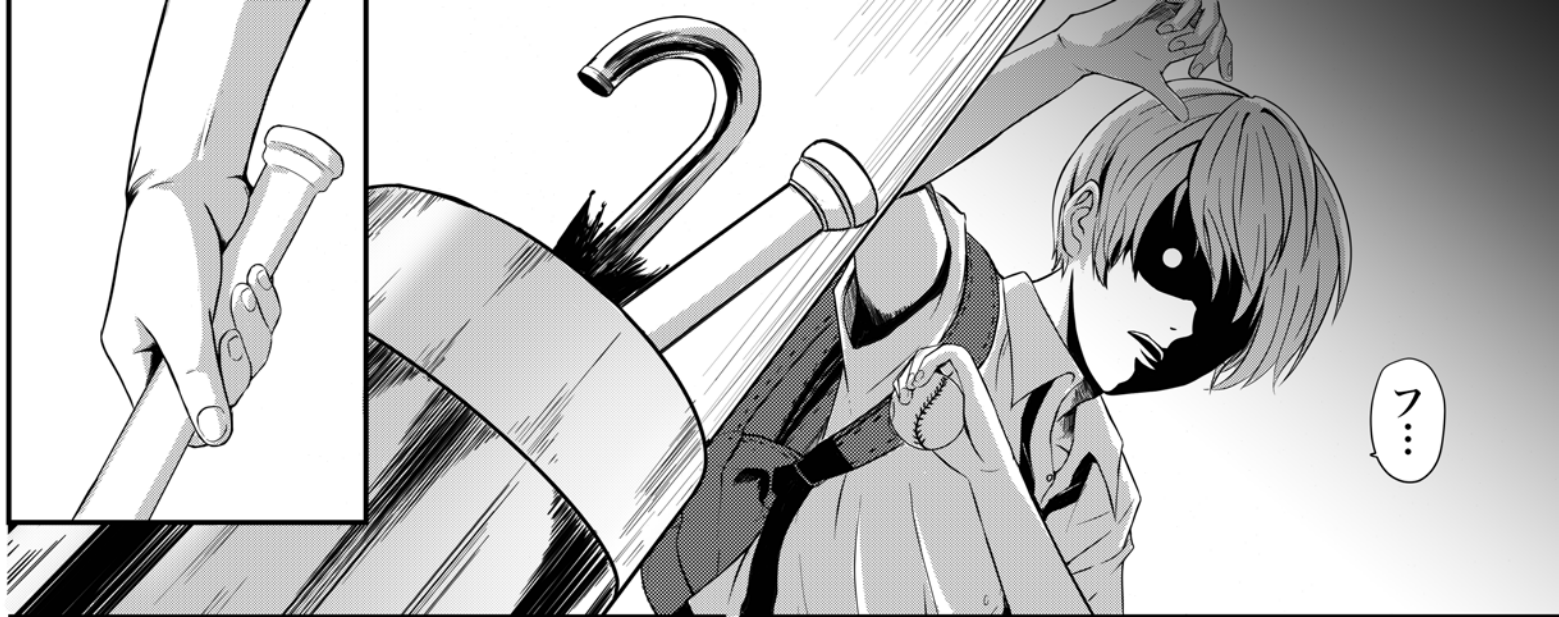
おかしい…

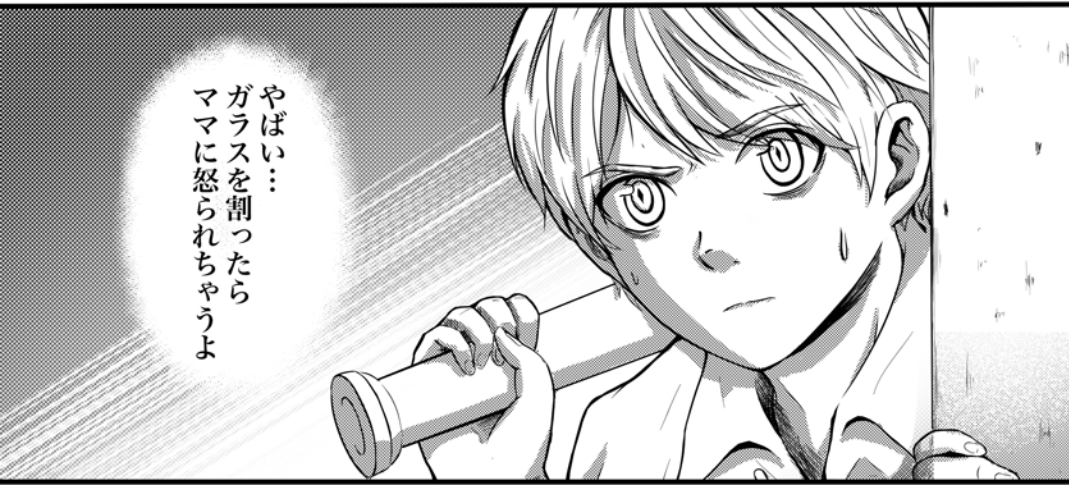


幼い頃から
天才と呼ばれていた私が
問題ができなくて
立たせられるなんて…

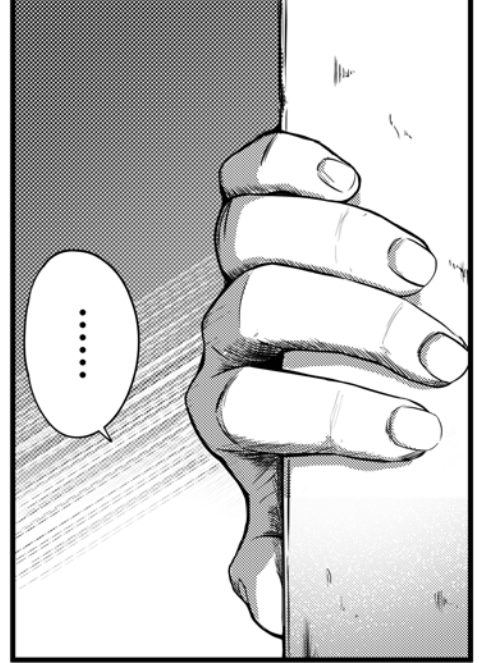








やばい：
ガラスを割ったら
ママに怒られちゃうよ



.....



この開かない
ドア...



大丈夫そう...
よかった



なぜ開いているのか...



あれれ...

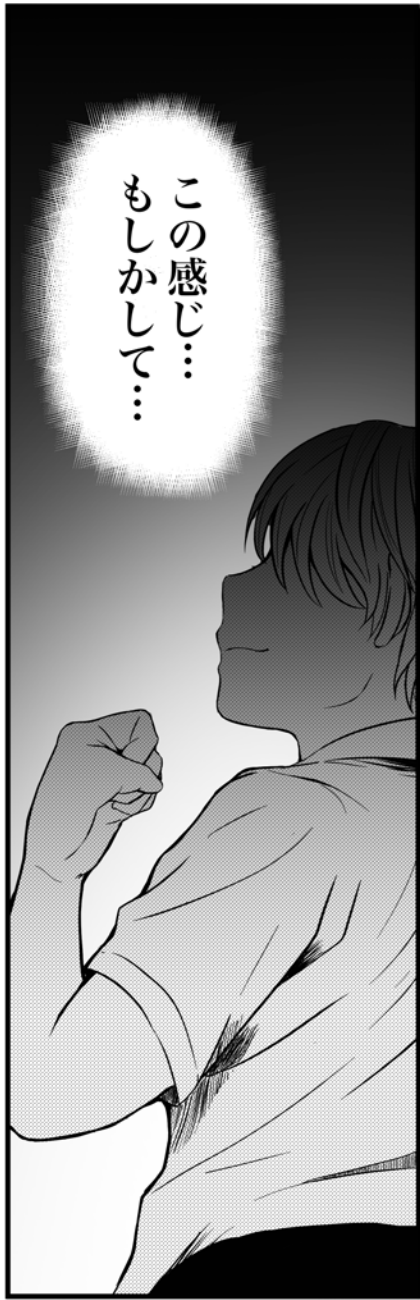


ものが消えた...

ふんふん...

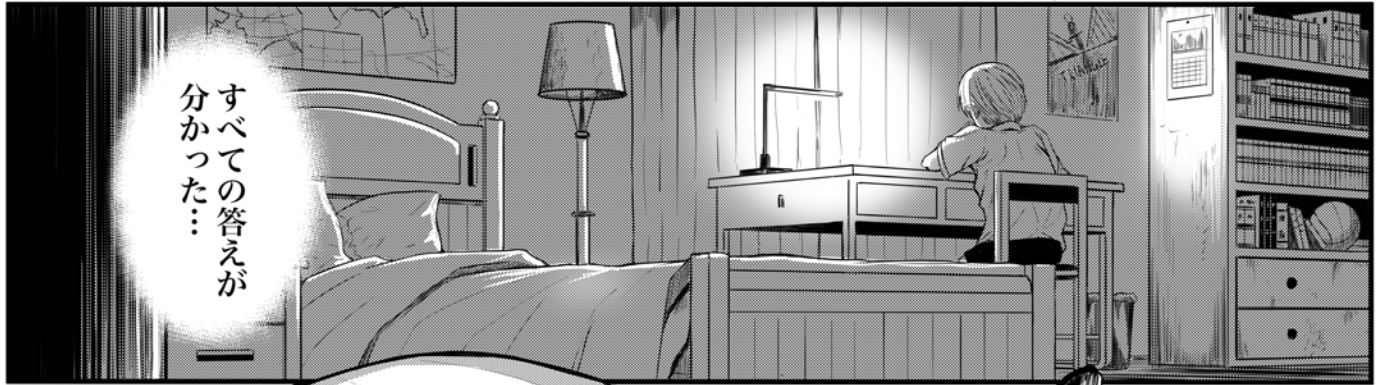
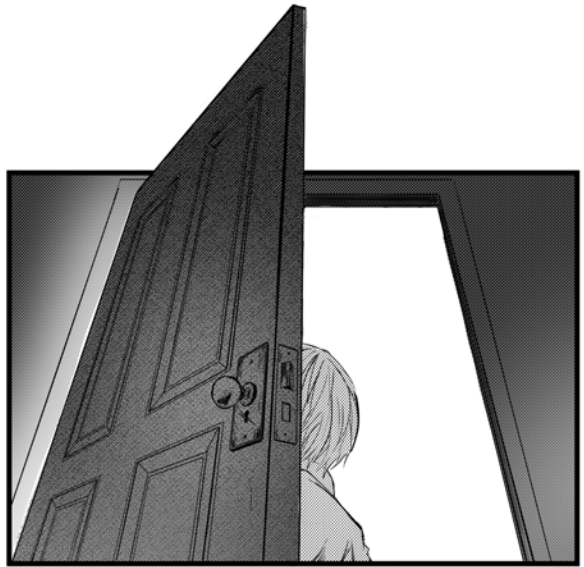
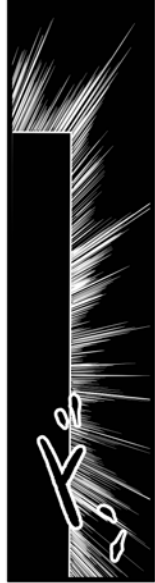


思わず...
入ってきた...



この感じ...
もしかして...







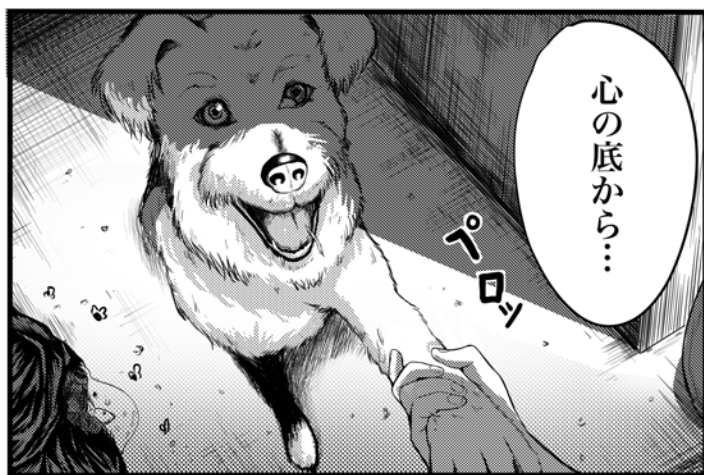


私はそうは思わない
生まれてから彼は
とても頭がいいので
しつげなくてもいい
と思っただけだ



彼は何か
隠している
ような気がする

きっと大丈夫だよ



心の底から...



悪いことをした
にもかかわらず

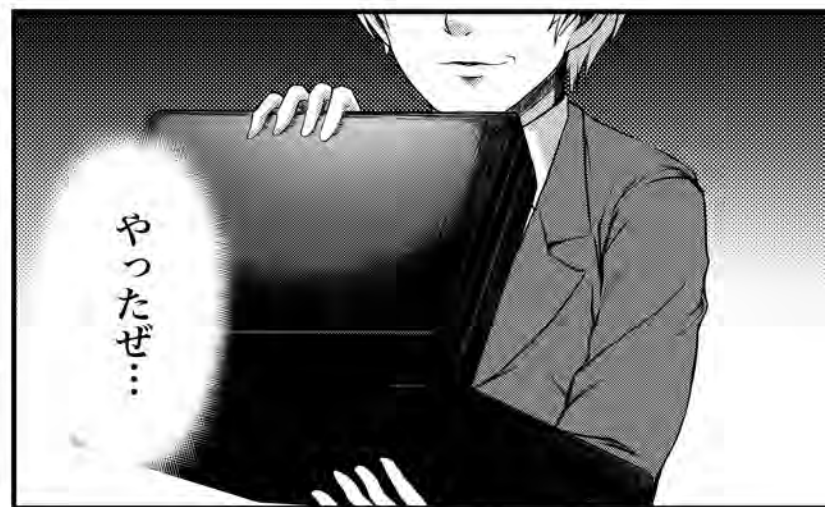


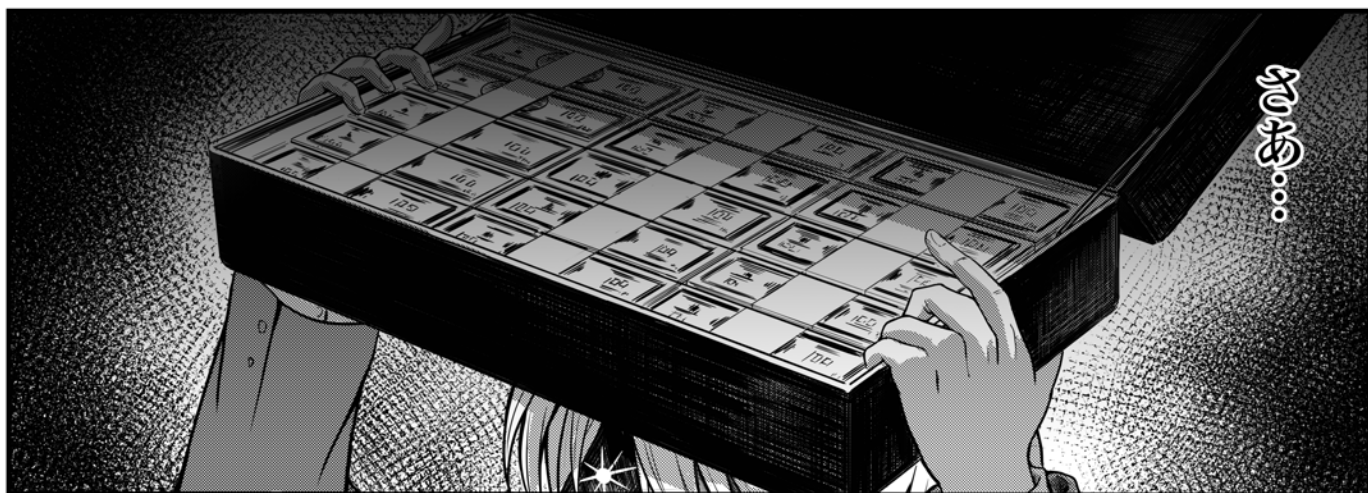
世の中には
子供を信じない
お母さんはいないよ



彼はいい子だと
思っている

彼を信じてる





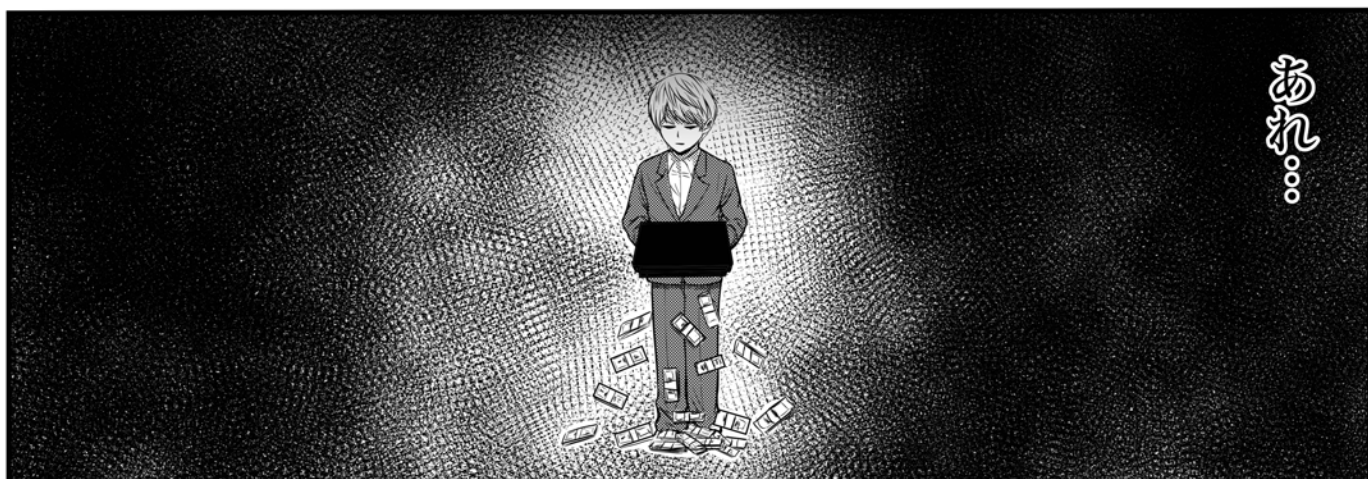
はじめ...



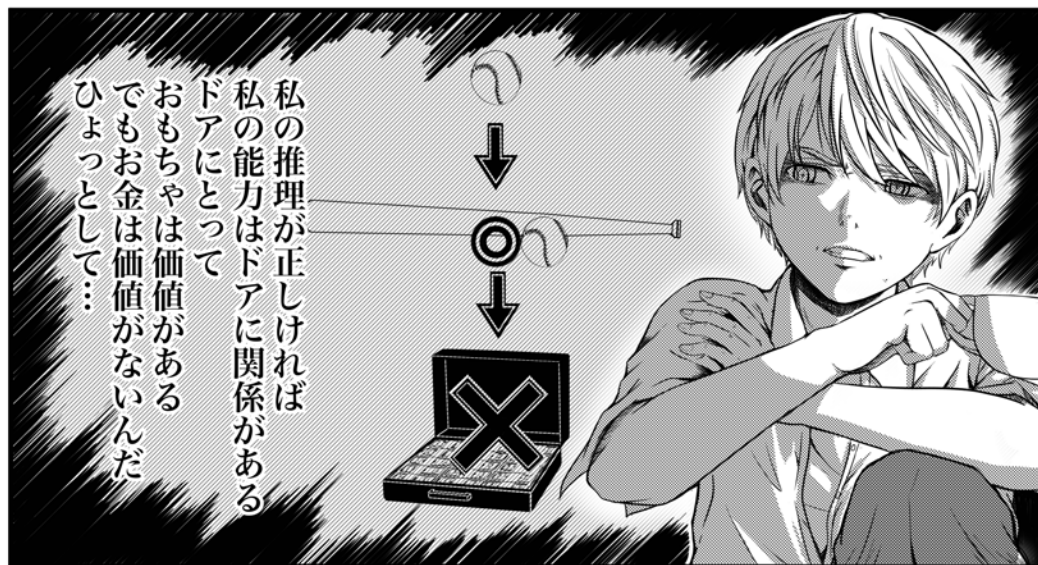
はじめよ...



oooo



あれ...





なるほど

今夜目が覚めてから
妻がいなくなつて
あちこち探して
どこにもいません



行方不明…？



安心して
すぐ帰る
かもしれないよ

本部に報告したので
これから結果を
待ってください



パパ
泣かないで
ママきつと
大丈夫だよ



パパ
心配しないで
私がそばに
いるから



ジョー
きみがいて
よかった



お巡りさん
ママのこと
頼みます

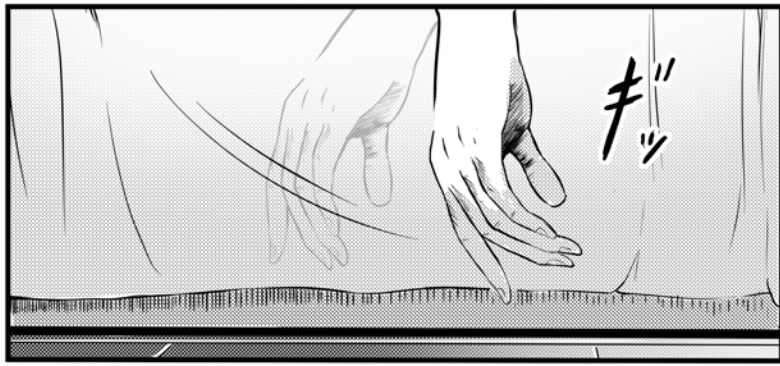
サア



ありがとう



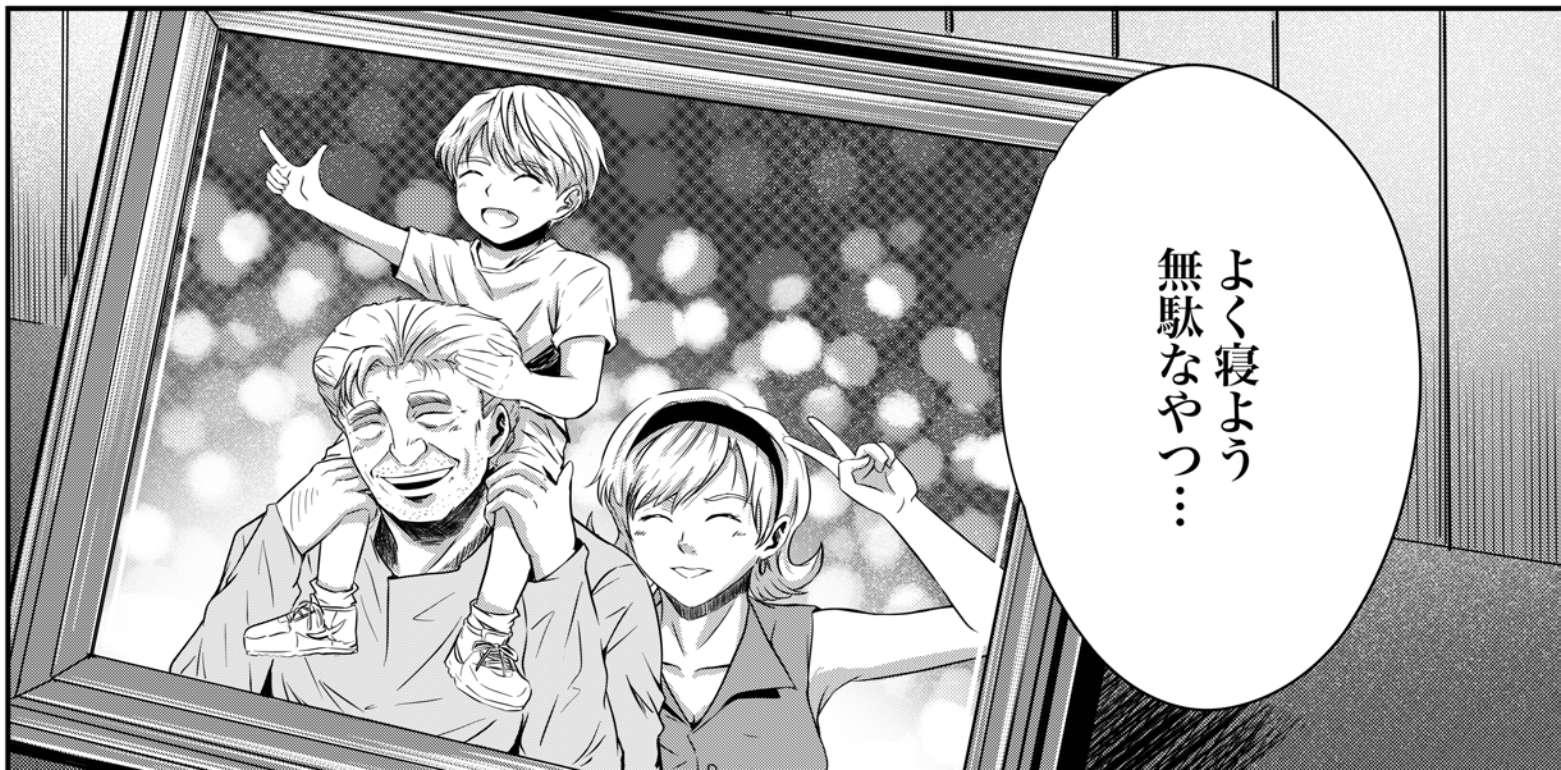
パパ
寝る前にまず
水を飲もうよ



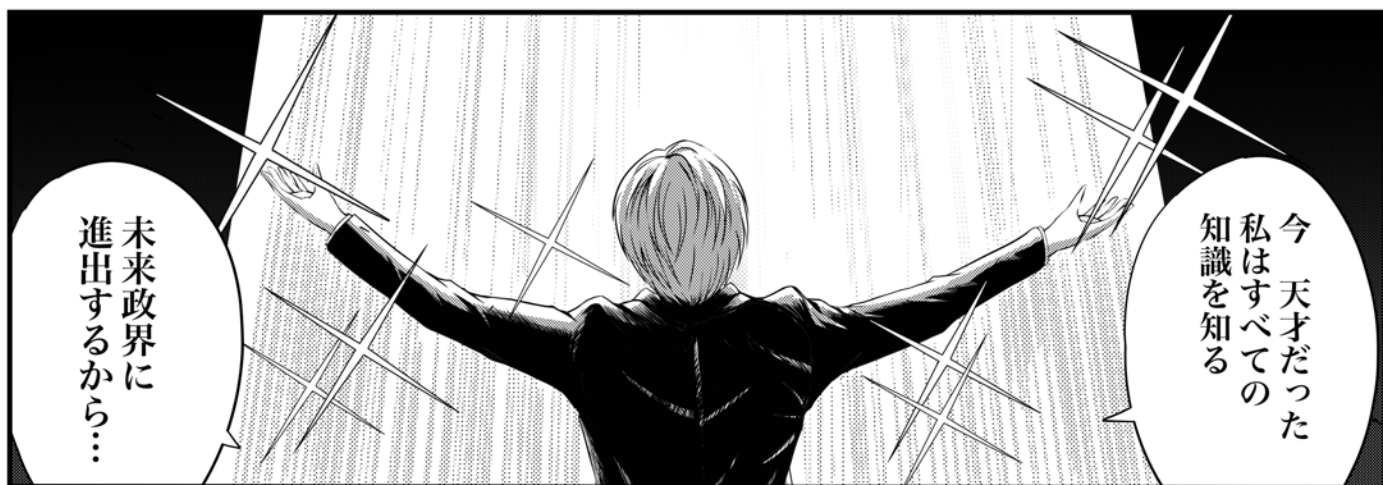
キッ



やっと
静かになった…

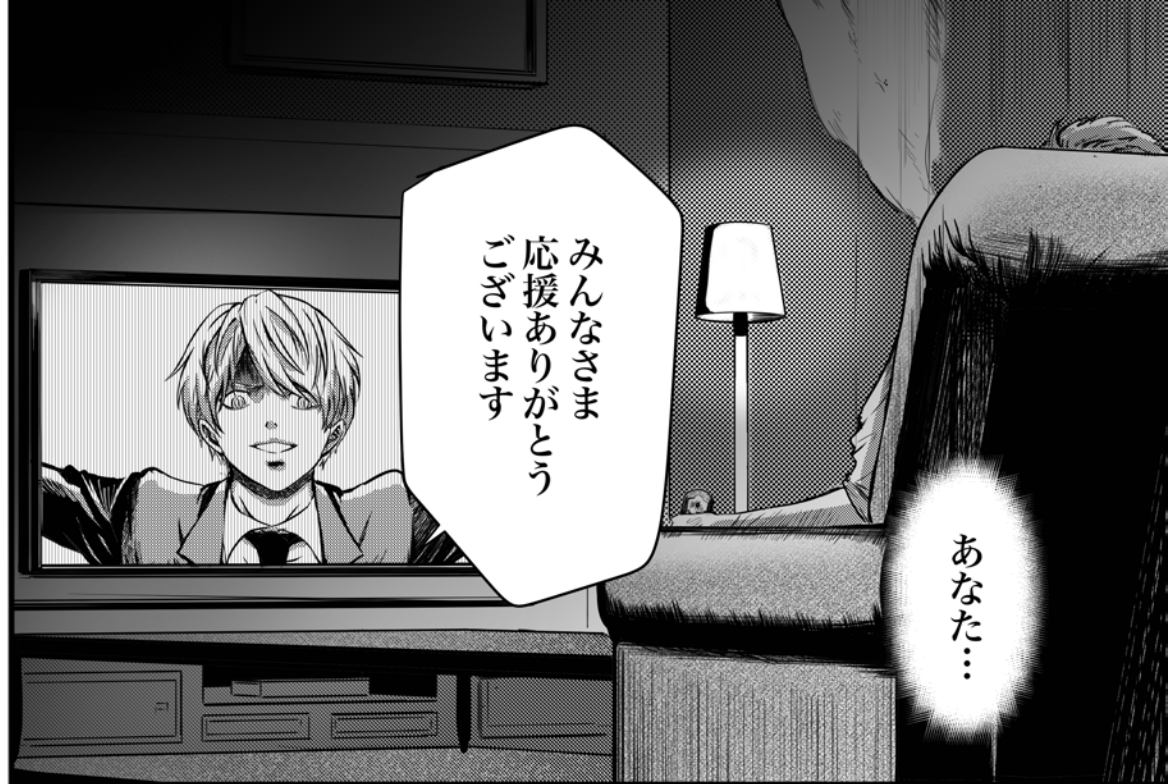


よく寝よう
無駄なやつ…





私はまだ
ここにいますよ…



みなさま
応援ありがとうございます
ございます

あなた…



早く来て…
私を探しに来て…



この声は
妻の声…



ドアにいる
かなあ…

ここに来いよ…



待ってくれ
今すぐ行く…



でも
何かおかしい
気がする…



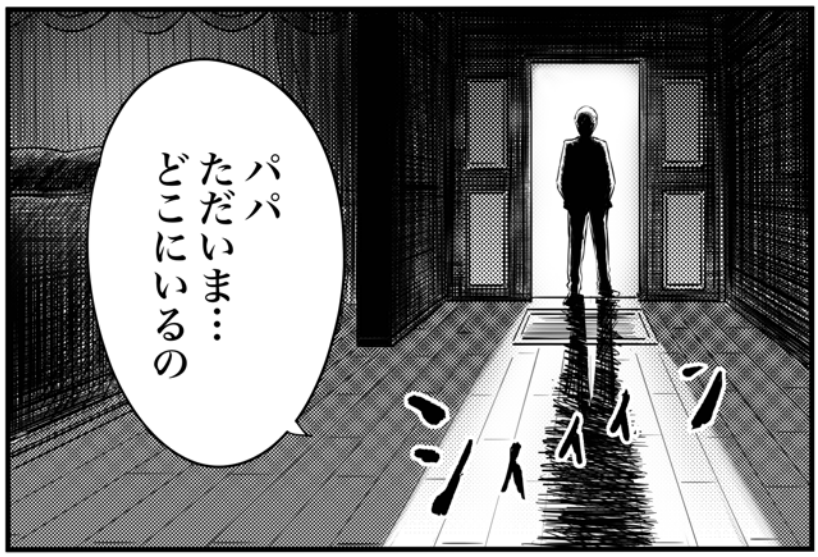
民衆は本当に
コントロール
されやすい…



バカども…
勝手に言って
信じるなんて…



くそっ…
私がいないと
こんな汚くなっちゃう



パパ
ただいま…
どこにいるの



まさか…
見つけられたか



あれ…
あの光は…





さあ…
来いよ!



父親の失踪を
偽造して…



世間の思いやりを
受けて…



これから…



あれ？
手が消えてくる



ドアが
閉まったか…



今なら
逃げても
間に合う…



世間の注目を
集める神になる

なんで
私が生け贄に
なってしまうんだ…

誰か…
早く開ける！

誰か
助けてやれ…

くそやろう…

カ
クツ



そんな
はずじゃない...



くっぞおおおお
~~~~~っ!

あ

